

女
伏

白秋全集
38

小篇
4

白秋全集 38 第一四回配本(第Ⅱ期二五、三九卷・別卷一)

一九八八年二月二十九日 発行

定価四二〇〇円

著 者 北 原 白 秋

発行者 緑 川 亨

〒101 東京都千代田区一ツ橋二五五
発行所 鐵 岩 波 書 店

電話 〇三・六五・四二二
振替 東京六二六四〇

落丁本・乱丁本はお取替いたします

俳句 連句 童話 序跋 アンケート 選評

落の臺	一
青梅	三
海光 熱海ホテルにて	三
春の蚊	三
天王寺雄吟	四
山茶花	五
〔香ひの狩獵者〕	五
追弔三句	五
『竹林清興』より	五

連句

浅春吟——土岐に与ふ——	六
小田原興行 其一・其二	六
小田原興行 其三	七
小田原興行 其四	七

童話

石合戦	九
-----	---

ガソリン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・六

子供の天国 いろいろの子供たちの話・・・・・・・・・・六

ドウナツの話(六六)

旅行の話(一〇三)

病氣見舞の話(六六)

序跋ほか

『南京玉』はしがき・・・・・・・・・・・・・・・・二五

『抒情小曲集』序文・・・・・・・・・・・・・・・・二五

『朝鮮民謡集』序・・・・・・・・・・・・・・・・二六

『日本童謡十講』序・・・・・・・・・・・・・・・・二九

『藻汐帖』序・・・・・・・・・・・・・・・・三〇

『山のあなた』序・・・・・・・・・・・・・・・・三一

『人形の耳』序・・・・・・・・・・・・・・・・三三

『雪と驢馬』序・・・・・・・・・・・・・・・・三五

風と林檎の詩人に寄せて・・・・・・・・・・三七

『くらら咲く頃』序・・・・・・・・・・・・・・・・三八

金の風車に寄せて・・・・・・・・・・・・・・・・三九

『旗・蜂・雲』序・・・・・・・・・・・・・・・・四四

南十字星に・・・・・・・・・・	一四〇
寒流に序す・・・・・・・・・・	一四一
『藍色の暮』の詩人に・・・・・・・・	一四三
「白沙の駅」に序す・・・・・・・・	一四四
言葉・・・・・・・・・・	一五八
喇叭と枇杷に寄せて・・・・・・・・	一五九
『第二木馬集』巻頭に・・・・・・・・	一六三
民謡についての対話・・・・・・・・	一六四
本集について・・・・・・・・・・	一七三
『日本民謡作家集』序・・・・・・・・	一七五
日本の児童たち こども に・・・・・・・・	一八〇
『赤い鳥童謡集』序・・・・・・・・	一八二
『日本幼児詩集』序・・・・・・・・	一八六
『日本幼児詩集』解題・・・・・・・・	一九二
『多磨第一歌集』序・・・・・・・・	一九三
『多磨第二歌集』序・・・・・・・・	一九五
『多磨第三歌集』序・・・・・・・・	一九六
白秋民謡の言葉・・・・・・・・・・	一九九

『空に真赤な』小序	123
『月のパバヤ』巻末に	124
『椰子の日永』巻末に	100
童謡普及版について	100
『白秋童謡集』第壹巻解説	101
『日本新童謡集』はしがき	104
『作曲白秋民謡集』作品註	105
『作曲白秋舞踊詞集』序	108
『作曲白秋舞踊詞集』作品註	108
『現代短歌全集』第九巻後記	110
年譜	113
『作曲白秋国民歌謡集』序	110
『白秋全集』第一巻後記	111
『白秋全集』第二巻後記	115
『白秋全集』第三巻後記	116
『白秋全集』第四巻後記	118
『白秋全集』第五巻後記	119
『白秋全集』第六巻後記	124

『白秋全集』第七卷	後記	二五
『白秋全集』第八卷	後記	二五
『白秋全集』第九卷	後記	二五
『白秋全集』第一〇卷	後記	二六
『白秋全集』第一卷	後記	二七
『白秋全集』第二卷	後記	二八
『白秋全集』第三卷	後記	二八
『白秋全集』第四卷	後記	二八
『白秋全集』第五卷	後記	二九
『白秋全集』第六卷	後記	二九
『白秋全集』第七卷	後記	三〇
『白秋全集』第八卷	後記	三〇
『白秋全集』第一八卷	後記	三〇
『白秋童謡読本』序		二〇
『待ちぼうけ』卷末記		二二
『白秋詩抄』小序		二五
『白秋抒情詩抄』小序		二五
『全貌』第一輯序		二五
消息片鱗（一九三二—三三年）		二六

『全貌』第一輯〕卷末記	二九七
消息片鱗（一九三—三四年）	三〇〇
『全貌』第二輯〕卷末記	三〇四
消息片鱗（一九三四年）	三〇〇
『全貌』第三輯〕卷末記	三〇二
消息片鱗（一九三五年）	三〇四
『全貌』第四輯〕卷末記	三〇四
消息片鱗（一九三六年）	三〇六
『全貌』第五輯〕卷末記	三〇三
消息片鱗（一九三七年）	三〇五
『全貌』第六輯〕卷末記	三〇一
消息片鱗（一九三八年）	三〇四
『全貌』第七輯〕卷末記	三〇八
昭和十四年私錄	三〇〇
『全貌』第八輯〕卷末記	三〇九
『短歌文学全集 北原白秋篇〕卷末に	三一一
『白秋詩歌集〕第一卷〕後記	三六三
『白秋詩歌集〕第二卷〕後記	三六六

『白秋詩歌集』第三卷	後記	三二
『白秋詩歌集』第四卷	後記	三七
『白秋詩歌集』第五卷	後記	三八
『白秋詩歌集』第六卷	後記	三九
『白秋詩歌集』第七卷	後記	四〇
『白秋詩歌集』第八卷	後記	四一
『水の構図』はしがき		四二
『水の構図』跋		四三

アンケートへの回答

作中に現れたる女性	四四
我が好む演劇と音楽	四五
大正二年、芸術界の収穫	四六
趣味と好尚	四七
新進作家と其作品	四八
この夏は	四九
文学に志す青年の座右銘	五〇
夏の旅行地の感想	五一

選評

裸体美芸術の解放	四〇六
好きな俳優	四〇七
私のペンネーム	四〇七
現歌壇に対する感想	四〇八
〔本年度上半期の創作他〕	四〇八
名士と食物	四〇九
気に入った自著・愛蔵本・出したい本・etc.	四一〇

〔懸賞和歌〕講評	四一一
応募詩評	四一五
〔「文章世界」長詩欄選評より〕	四一八
『切火』の歌合評	四二〇
〔「才媛文壇」長詩欄選評より〕	四二七
〔「曼陀羅」前号歌評〕	四二八
〔「短歌雑誌」募集歌選評より〕	四二八
〔「文章世界」長詩欄選評より〕	四三〇
〔「現代」民謡欄選評より〕	四三六

後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・四〇九

人類愛の為に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	四〇八
「空を仰ぐ」合評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	四〇九
「月刊「九州」募集当選歌」選評・・・・・・・・・・	四一一
電波歌評(BKラヂオ歌壇評)・・・・・・・・・・・・・	四一四
「婦人公論」詩壇選評・・・・・・・・・・・・・・・・・・	四一三
若萌を観る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	四一三
「短歌研究」推薦短歌選評より・・・・・・・・・・・・・	四一三
「お話の木」童謡・児童自由詩選評より・・・・・・・・	四一六
選後覚書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	四一九

俳

句

夏野

雨の照る竹林の見えて夏野かな

夏野行けば釣鐘草も咲てゐる

夏野行く馬に麦稈帽も冠せばや

〔大正10年7月7日「小田原実業新報」〕

向日葵

ゆつさりと廻かけて輝く向日葵